

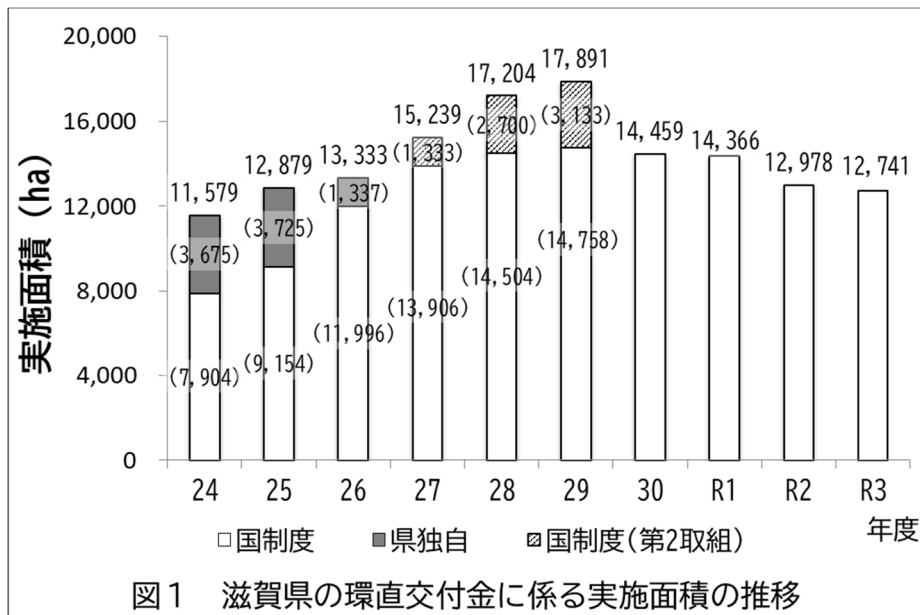
各関連事業の進捗状況について

重点施策1：環境こだわり農業の一層の拡大

1 環境保全型農業直接支払交付金

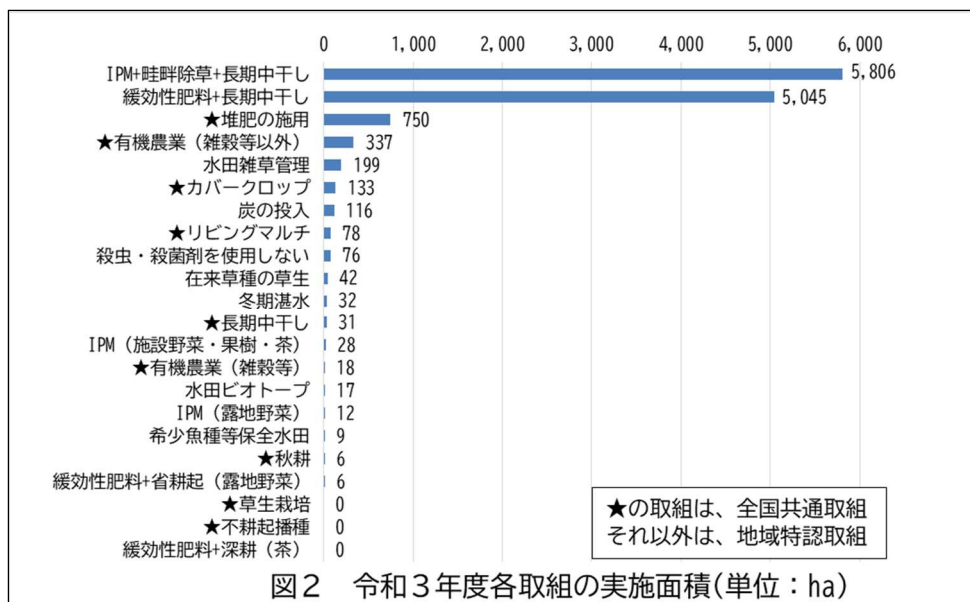
(1) 実施面積の推移

環境直接支払交付金については、令和2年度から第2期対策が開始されている。令和3年度の実施面積は12,741ha（前年差△237ha）。水稻の作付面積の減少等に伴って、取組面積は減少している（図1）。



(2) 支援対象取組別の面積

取組面積のうち、最も多いのは、⑧IPMの実践、畦畔の人手除草および長期中干し（5,806ha）。次いで、⑪緩効性肥料の利用および長期中干し（5,045ha）となっており、これらの取組で約85%を占める（図2）。



また、滋賀県は地域特認取組が全体の9割を占めており、全国と比較しても高い割合となっている（図3）。

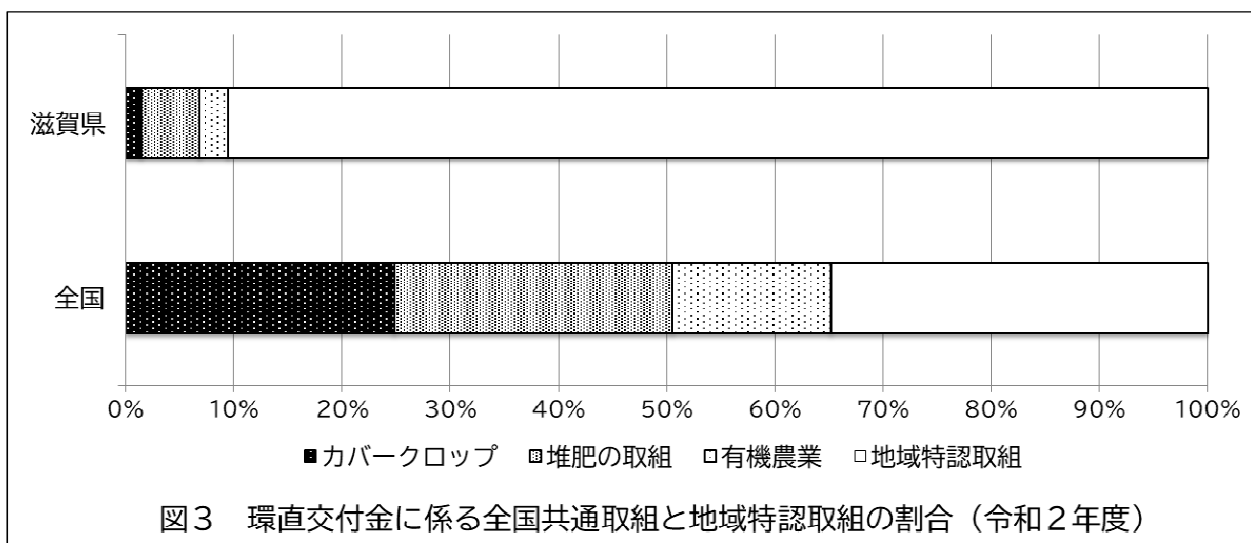


図3 環境交付金に係る全国共通取組と地域特認取組の割合（令和2年度）

2 県内外への発信

令和3年度は、新米販売と合わせて、2局でテレビCMを放映するとともに、近江米を扱う量販店向けに販売促進用のPOPを作成・配布した。加えて、県内農産物等が当たる新米キャンペーンを実施し、JR駅に設置されているJ・A Dビジョンを活用したデジタルサイネージ広告でキャンペーンの告知を図るなど、近畿圏内における販売を促進した。

また、食の情報発信サイト「滋賀のおいしいコレクション」、フェイスブックやインスタグラムにおいて、環境こだわり農産物に関する情報を発信した。



重点施策2：環境こだわり農産物の有利販売・流通拡大に向けた新たな取組

1 環境こだわり農産物流通拡大事業（米）

(1) コシヒカリ統一デザイン米袋流通促進に対する助成

近江米生産・流通ビジョンで家庭用品種として位置付けた「みずかがみ」と「コシヒカリ」のうち、特に「コシヒカリ」について、環境こだわり米としてアピールできるよう、専用パッケージでの販売を促進した（統一デザイン米袋の作成に対し助成）。



(2) 環境こだわりこしひかり販売促進等に対する助成

環境こだわり米こしひかり・みずかがみの流通販売の促進を目的として、ECサイトでの購入者向けに配布する販促用資材の作成費用を助成



2 環境こだわり農産物流通拡大事業（野菜）

(1) 重点推進品目

- にんじん（令和元年度選定）
- こまつな、かぼちゃ（令和2年度選定）

(2) 活動内容

選定された重点推進品目の主産地や関係機関・団体とPR手法を検討し事業を実施した（事業主体は園芸農産振興協議会）。

- ・ 事業内容：売り場用台巻、ミニのぼり等の販売促進・啓発活動資材作成
（デザインはこれまでに作成したものの調和）
作付情報等の情報発信による販売促進活動等



売り場用台巻（3品目）



ミニのぼり（かぼちゃ）

重点施策3：環境こだわり農業の象徴的な取組としてオーガニック農業を推進

1 オーガニック米生産拡大事業

- ・乗用型水田除草機導入支援：機械導入に要する経費の3/10を補助。
- ・有機JAS認証取得支援：指導人材の育成及び認証取得に要する経費の1/2を補助。
- ・安定生産技術の普及啓発：栽培技術等に関する実証試験の実施や実演会・研修会を開催。

2 オーガニック米等販路開拓事業

- ・生産・企画会議の開催：関係団体・事業者と連携し産地として流通拡大を推進。
- ・市場調査の実施：大学と連携し、オーガニック近江米の消費者意識を明らかにするため、市場調査を実施。
- ・新規販路の開拓：オーガニックEXPO等への出展や各種PRを通じた情報発信を実施。
- ・販路開拓マネージャの設置：首都圏の流通網整備を進め、試験的販売を検討。
- ・新商品の開発：贈答用「オーガニック近江米」(キューブ)を検討。



導入を進めている乗用型水田除草機



商品化された「オーガニック近江米」

3 みんなで築く「おいしいオーガニック茶」産地育成事業

(1) うま味のあるオーガニック茶生産技術の開発(茶業指導所)

- ・土づくり、肥培管理による品質改善
慣行栽培と同様の肥効が現れる有機質肥料の施用法の検討 等

(2) オーガニック茶産地体制の構築支援

- ・製茶体制を含めた一貫体系の構築(甲賀地域)
オーガニック茶の生産実証、品質評価
オーガニック茶の製茶体制構築のための検討
- ・オーガニック茶の生産拡大(県内生産組織)
オーガニック茶の生産実証ほの設置
販売方法の検討

4 魚のゆりかご水田

(1) 各地域の取組の概要



写真 ショッピングモールでのPR活動
4月30日 イオン近江八幡店にて



写真 魚道設置のようす
5月22日 高島地マキノ町知内

(2) 販路拡大に向けた取組

- ・ 7月 近鉄百貨店草津店、日本生命大阪本社等 でPR 販売、活動 他
- ・ 9月 現地視察ツアー（湖北～高島（予定））
- ・ 小中学校、企業などへの出前授業・PR活動（随時）



写真 県内のスーパーで販売される
魚のゆりかご水田米



写真 魚のゆりかご水田米および関連商品の販売会
R3 9月末～10月中旬 近鉄百貨店草津店

(3) 琵琶湖とつながる生きもの田んぼ物語推進協議会（構成 26 団体）

- ・ 令和4年6月16日 世界農業遺産現地審査対応（調査員が須原に来られる）
- ・ 6月 総会の実施
- ・ 7月～ 新しいパッケージデザインの活用助成事業
- ・ 6～7月 生物多様性に関する調査
- ・ 9月 食味調査の実施
- ・ 12月 研究会

(4) 取組の拡大

- ・ 各地域で新規取組に向け、魚道資材提供や設置に係る現地指導の支援
- ・ 令和5年産に向けた取組面積拡大地域：野洲市野田、草津市志那 等